

【概要】

6月1日に平成30年度協議会を開催し、「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画への対応、平成29年度の実施状況報告、平成30年度の実施予定、今後のスケジュールについて協議会に諮った。その結果、協議会構成員の賛同を頂くとともに、減災に向けて各機関が協力して取り組みを推進していくことを確認した。

【決定事項】

- ・「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画への対応(地域の取組方針の見直し)
- ・「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく高津川流域の減災に係る取組の推進

【主な発言】

- ・島根県土木部長(代):樋門の無動力化について具体的な数字(例えば、サイズなど)で教えていただきたい。
- ・事務局:2m四方の大きさまでが対象と考える。

- ・浜田河川国道事務所長:中学校で実施する防災体験学習の内容を教えていただきたい。
- ・益田市:具体の取組内容は今から検討する。

- ・益田市長:危機管理型水位計の観測方法と死活監視について教えていただきたい。
- ・事務局:設置水位以上になると10分毎に計測する。死活監視とは、一定の時間間隔でデータ送信し、動作確認することである。

開催日:平成30年6月1日(金)

場所:益田市民学習センター 202会議室

参加機関:益田市、島根県、松江地方気象台、浜田河川国道事務所



平成30年度高津川水系減災対策協議会の状況